

令和5年度 和歌山支部予算(案)について

支部医療費適正化等予算（案）

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費 (単位:千円)	事業概要
医療費適正化対策経費	企画部門関係	継続	健康イベント「みんなの健康フェア」における医療費適正化にかかるセミナー、ブースの出展	176	一般加入者向けに地元地方紙の健康イベント時に健康保険制度、医療費、適正な医療のかかり方、インセンティブ、GEなどに関するセミナーを実施する。
		新規	お薬手帳カバーの作成	429	お薬手帳の活用によるジェネリック希望意思表示の促進や重複投薬の防止を目的として、集団健診やイベント、加入者へのジェネリック使用促進勧奨の際に、保険証や診察券、限度額認定証が一括して入る「お薬手帳カバー」を配布する。
		新規	ジェネリック医薬品使用促進にかかる自治体の広報媒体活用	331	ジェネリック医薬品の使用促進ならびに適正受診につながる行動に取り組んでもらうため、特に使用割合が低い県南部地域の主要2市(田辺市・新宮市)の市広報紙に有料広告を掲載し、全世帯へのジェネリックの啓発と普及を図る。
				936千円	

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費 (単位:千円)	事業概要
広報・意見発信経費	その他の広報	紙媒体による広報 (定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等)		2,872	→次ページ参照
		継続	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展	22	和歌山県の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出展を行う。標記イベントは、和歌山県が健康推進や食育に携わる団体等と連携し、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚を図ること及び健康寿命の延伸につながることを目的に実施されるもの。
		継続	地域情報紙とコラボ広報(LIVING和歌山)	528	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナー等を活用し、協会けんぽイベント案内、ジェネリック使用促進、業務関係案内、インセンティブ制度、健診等の周知、情報提供を図る。
		継続	地域情報誌への広告掲載(まみたん)	400	和歌山市・岩出市・海南市・紀の川市の幼稚園・保育園(エリア内の80%をカバー)にて園児に直接配布される地域情報誌(子育て応援まみたん)の広告スペースに広報記事(4コマ漫画やアニメーション等の活用含む)を掲載し、園児の親世代に対して協会けんぽの様々な事業について広報を実施する。
		継続	県広報誌への広報(県民の友)	1,540	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。
		継続	バス車両ラッピング広告による広報	528	和歌山市内を走るバスにラッピング広告を掲載し、「ジェネリック医薬品使用促進」の広報を行う。
		継続	バス車内放送広告	396	JR和歌山駅の最寄りのバス停「新地」の到着時に路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」等の事業案内の音声放送を実施する。これにより、協会けんぽの各事業に対する取り組みを乗客にアピールし周知を図るもの。
		継続	TV局のスポットCMの活用による広報	275	地元TV局のCM枠に、大規模イベントの参加に合わせ支部事業(インセンティブ等)について広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。
		継続	ラジオ広報の実施	370	インセンティブ、ジェネリック医薬品啓発、健診等の広報として、和歌山県内を網羅する地方ラジオ局のAMおよびFM放送にて、CM(約20秒)及びスタジオ生出演(10分×3回)を活用し、大規模イベントに合わせた支部事業広報、集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。
		継続	電子看板(映像)による広報の実施	480	JR和歌山駅中にある「大型電子看板(デジタルサイネージ)」にて15秒の動画、静止画を放映し、大規模イベントに合わせた支部事業広報(インセンティブ等)や集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。
		継続	広報コラムの作成業務委託	429	ホームページやメルマガで広報素材としてコラムを作成し、広報の充実を図るもの。 健康づくりに役立つ情報や医療保険制度の啓発等を配信し、ヘルスリテラシーの向上を目的とする。
		新規	動画配信を活用した広報活動	726	和歌山県の特徴として県内が南北に長く、県庁所在地から一番遠い市までの移動時間が片道4時間程度と研修会等の開催には非常に不便な状況である。その解決のため、協会けんぽ事業や医療費適正化の広報について動画配信により時間を気にせず、移動距離を気にしない広報を必要としている。
		新規	「和歌山ジャズマラソン」へのブース出店	142	和歌山市が主催する市民マラソンにブース出店を行う。エントリーが約1万人規模の県内有数のスポーツイベントであり、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚と健康寿命の延伸につながる。
			8,708千円		

予算枠 9,664千円
 計 9,644千円

● 紙媒体による広報

(定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷、及び業務用のリーフレットやポスター、冊子(しおり)の作成等)

合計	2,871,660円
----	------------

事項 (詳細)	目的 (使途項目)	実施時期	仕様 (サイズ・紙質・色等)	配布対象者	期待される効果	経費(全体) <単位:円>
納入告知書同封チラシの作成	事業案内等	毎月	A4・両面カラー印刷・三つ折り 紙質上質70kg	事業主	事業主・事業所担当者への周知及び情報提供	1,415,700円
事業案内用カレンダーの作成	事業案内等	令和4年度中	180mm×140mm カラー	健康保険委員、健康宣言事業所	健康保険委員への情報提供	938,960円
インセンティブ制度チラシの作成	インセンティブ制度周知	随時	A4・両面カラー印刷・三つ折り 紙質上質70kg	事業主	インセンティブ制度周知による各種指標の向上	165,000円
任意継続申請セット	任継加入者が多い時に事業所及び喪失予定加入者へ任意継続の案内等をセットにしたものを提供するために作成する。	第四半期	A4両面上質紙4色等	任継加入申請者	任意継続加入希望者への円滑な加入案内	132,000円
限度額適用認定申請セット	限度額適用認定申請が多い医療機関及び入院予定のある加入者へ限度額適用認定証の案内等をセットにしたものを提供するために作成する。	四半期ごと	A4両面上質紙4色等	限度額適用認定書が必要な方	限度額適用認定証が必要な加入者への手続き方法の周知、記入誤りによる返戻の削減等	220,000円

支部保健事業予算(案)

分野	区分	取組名	経費 (単位:千円)	新規・継続 等の区分	事業概要	
健診経費	健診実施機関実地指導旅費		61			
	事業者健診の結果データの取得	健診機関による委任状取得の委託費	22			
		データ作成費	693		事業主等によるデータ作成に要する費用	
	集団健診	事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨等の外部委託	8,767	継続	事業者健診にかかる同意書取得勸奨及び健診結果データ取得勸奨を外部委託により全面实施することで、事業者健診実施率の向上を図る。	
		協会主催集団健診(特定健診)の実施	5,190	継続	自己負担無料の集団健診を実施することで、特定健診の実施率向上を図る。	
		自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施	1,094	継続	特定健診と自治体のがん検診を同日に受診できる集団健診を実施することで、特定健診の実施率向上を図る。	
	健診受診勸奨等経費	付加価値を付与した女性向け集団健診(特定健診)の実施	1,278	新規	女性をターゲットにした集団健診を実施し、被扶養者の特定健診実施率向上を図る。	
		対象者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勸奨	1,139	継続	対象者個人に対して受診勸奨を行うことで、生活習慣病予防健診の実施率向上を図る。	
		生活習慣病予防健診の出張健診受診勸奨	799	継続	生活習慣病予防健診の出張健診を案内することで、生活習慣病予防健診の実施率向上を図る。	
		和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	80	継続	各医療機関に特定健診案内ポスターを配布し、掲示・広報することで特定健診の周知を図る。	
		令和6年度生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	468	継続	事業所に対して一斉発送する新年度(令和6年度)の健診案内に同封する支部独自印刷物を作成する。	
		令和5年度特定健診の案内(一斉発送)	1,185	継続	年度当初に一斉発送する受診券に同封する支部独自印刷物を作成する。	
保健指導経費	中間評価時の血液検査費		1,320		特定保健指導参加者の効果測定を目的とした血液検査	
	医師謝金		13		保健指導に関して医学的な意見・助言を受けるため。	
	保健指導用パンフレット作成等経費		220			
	保健指導用事務用品費(測定器機器類等)		100			
	保健指導等図書購入費		50			
	公民館等における特定保健指導		40		保健指導会場借料費用	
	保健師募集広告経費(支部)		50			
	保健指導推進経費	「特定保健指導終了件数」を報奨金の対象とする実施機関		149		
		新規契約機関又は前年度実績が60件以下の実施機関のうち、当年度実績が61件以上の実施機関		99		
	保健指導利用勸奨経費	検診車における遠隔面談を活用した特定保健指導		550	新規	健康意識が高まっている健診当日に特定保健指導を実施することで指導効果を拡大するとともに、実施率の向上を図るもの。
特定保健指導にかかるリーフレット等の作成		996	継続	目標設定シート、特定保健指導案内用リーフレットの作成。共同利用にかかる周知チラシの作成等。		

分野	区分	取組名	経費 (単位:千円)	新規・継続 等の区分	事業概要
重症化予防事業経費		未治療者受診勧奨	172	継続	高血圧・糖尿病の受診勧奨
		糖尿病性腎症重症化予防対策	4	/	和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムにあわせて受診勧奨およびハイリスク者への保健指導を実施する。
		その他重症化予防対策	1,980		健診機関と連携し、健診当日に血圧高値者へ高血圧予防啓発リーフレットを配布し、医師または看護師等より早期受診を促す。
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業経費	健康宣言事業所情報提供サポート事業	1,177	継続	定期的に健康宣言事業所に対し健康づくりに関する情報提供を行い職場内の健康づくりに役立てていただくもの。
		健康宣言事業所健康づくりサポート事業	1,622	継続	健康宣言事業所に対し健康経営のサポートとして健康器具貸し出しや健康講座を開き従業員の健康づくりのサポートを実施する。
		健康経営促進セミナーの実施	590	継続	健康経営に関する講演等を実施し、健康経営を実践するよう啓発を行う。あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。
その他の経費	その他の保健事業	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	245	継続	特定保健指導と合わせて、歯科検診を開催。年間2回程度 和歌山市内で開催する。歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげる。
		保健事業計画アドバイザー経費	91	/	

予算枠	30,245	千円
合計	30,244	千円